



1865年から建設された建物と中庭(Quad)

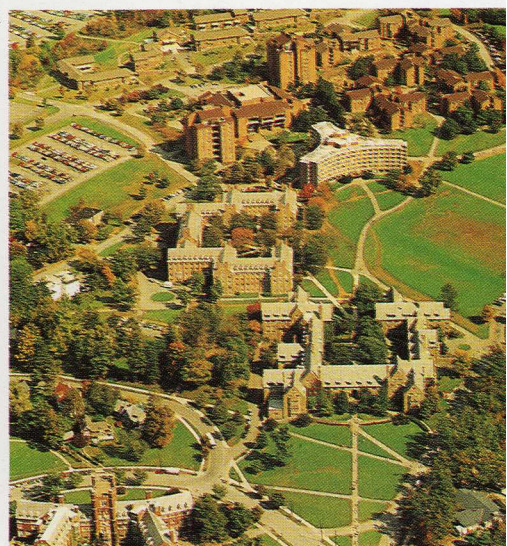
コーネル大学は、米国ニューヨーク州北部のイサカ市キャンパスとニューヨーク市内の医学部および関連施設とからなる総合大学である。1865年Ezra Cornellが私立大学としてイサカ市に開学した。しかし、連邦政府から国有地無償交付を受けた州立学部(The Land Grant College)が内部に4学部あり、これらが一体的に運営されており日本ではなかなか見られない大学といえる。

州立学部の学生授業料は、私立学部には比べかなり安く大きな差があるが、学生たちは全学部の授業を自由に受けることができる。大学の構成は主要7学部とその大学院のほか、大学院だけのSchool(またはCollege)が4施設あるため、大学院生の比率がかなり高い。

私は、平成5年10月から10か月間、文部省在外研究員としてこのコーネル大学に滞在し、住環境について研究する機会を与えられた。私が籍を置いたCollege of Human Ecology(人間環境学部)は1969年に改組された学部であり、「人間が環境に調和して生きることを教える」を目標に、27年前からエコロジーの思想に取り組んでいる。

郊外型大学の多くがそうであるように、大学の存在がこの町の産業であり、大学の施設が文化施設であるため、大学の情報通信施設(全米向けテレビ放送設備を含む)が充実していた。広島大学も文化情報の中心でありたいものだ。

教育学部家政教育学講座 岩重 博文(いわしげ・ひろふみ)



キャンパス近くの学生寮



アメリカ合衆国 ●イサカ ●ニューヨーク

## 世界の大学 シリーズ 24

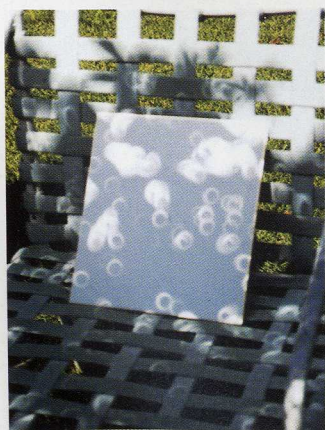
コーネル大学  
アメリカ合衆国



イサカ市のイベント、コーネル大学卒業式



中庭の雪に埋もれる筆者



### 1987年9月23日沖縄県那覇市豊見城公園にて撮影

太陽の中心と月の中心が一致する中心帯が通るのは、那覇の少し北東部になるので完全なリングとはならず、東側にほんの少しずれて見える。沖縄本島中央部は天文ファンでごった返しているの、それを避けて那覇市で観測しました。

左の写真に見られる日食像は、木漏れ日です。木の葉の隙間がピンホールカメラの役割をしてつくられたもの。日頃の木漏れ日は丸い形をしているはずですが、私もこの時初めて気づきました。

日食は太陽と月と地球が一直線となる(月が新月となる)時にいつも起こるわけではありません。太陽の通り道(黄道)と月の通り道(白道)が交差したところで新月になる必要があります。太陽と月の見かけの大きさがほぼ等しいために、月が太陽を完全に隠してしまうと皆既日食になるわけですが、太陽-地球間、地球-月間の距離はケプラーの法則により、常に一定ではないので、月の見かけの大きさが太陽よりも小さくなると金環食になるわけです。

附属中・高等学校(理科) 有田 正志(ありた・まさし)